

* 赤い羽根共同募金と赤い羽根について

ボーイスカウト世田谷地区 野営・行事委員会

なんですか？

日本で赤い羽根募金が始まったのは、1947(昭和22)年のことです。その当時は、第2次世界大戦が終わったばかりで、家を焼かれたり、お父さんお母さんがけがをしたり亡くなったりした子どもたちがたくさんいました。そこで、困っている人たちのために、みんなで助け合っていこうと、赤い羽根募金が日本中でおこなわれました。みなさんの生まれるずっと前から、たすけあいの心は続いているのです。赤い羽根募金「社会福祉法」という法律によって決められています。

いつからいつまでですか？

毎年10月1日から12月31日までの3か月間、日本中で赤い羽根募金がおこなわれています。みんなの学校やまちなど、いろいろな場所で募金がおこなわれています。

集めたお金はどんなふうに使われるの？

みなさんのあたたかい心がこめられた募金は、お年寄りや体の不自由な人、子どもたちなどのために役立てられます。例えば、体の不自由な人をお世話したり、ひとり暮らしのお年寄りの食事やお風呂のお世話、子どもたちのための遊具を設置したりするのにつかいます。

スカウトは募金しなくてもいいの？

募金しなくてもいいよ！募金をよびかける人も、募金に協力する人も、みんなボランティアです。君達は立派に募金したことになります。

なんの羽根をつかっているの？ いつからつかっているの？

にわたりの羽根を赤くそめてつかっています。2回目の1948年から使っています。

どうして赤い羽根なの？

赤い羽根は、むかしから世界中で、勇気やよい行いのしるしとしてつかわれてきました。イギリスのロビンフッドや、アメリカの先住民族も、赤い羽根をつけていたんですよ。

羽根は1本いくらするの？

赤い羽根は、1本あたり1.6円です。

赤い羽根ぼきんは世界でもおこなわれているの？

日本だけでなく、アメリカやカナダなど、世界の45か国以上でもおこなわれています。ただし、じっさいに赤い羽根を使っているのは日本と南アフリカだけです。

「赤い羽根共同募金」とは

ボーイスカウト世田谷地区 野営・行事委員会

1 「赤い羽根募金」は、「共同募金」の愛称です。

赤い羽根募金が日本で始まったのは1947（昭和22）年。まだ、あちこちが焼け野原でした。戦争が終わって、民間の福祉施設・団体が資金に苦しんでいるときに、募金活動はスタートしました。戦災孤児や体の不自由な人が大勢いて、たすけあうことが何よりも大切でした。もちろん平和な今も、たすけあいの大切さは変わりません。

共同募金のシンボル＝「赤い羽根」

「赤い羽根」を使うようになったのは、第2回目の運動からです。1948年頃、アメリカでも、水鳥の羽根を赤く染めて使っていました。それにヒントを得て、日本では、不要になった鶏の羽根を使うようになりました。「赤い羽根」は、寄付をしたことを表す「共同募金」のシンボルとして、幅広く使われています。

2 共同募金は、10月1日から12月31日まで

運動は、北海道から沖縄まで全国いっせいに行われます。10月1日～12月31日
毎年1回、全国いっせいに募金を行うため、厚生労働大臣の告示によって、募金期間が決められています。

3 誰でもできるボランティア

赤い羽根募金に協力している人は、みんなボランティア。募金をよびかける人も、募金に協力する人も、みんなボランティアです。「民間の福祉を応援したい」と、心から願う人たちの運動なのです。初めの一声は小さくても、そのうち街の人々の善意が伝わってきます。それが、地域の福祉への参加の第一歩になるかもしれません。

4 法律からみた「共同募金」

1951（昭和26）年、社会福祉事業法が制定され、共同募金が法制化されました。社会福祉事業法は、2000（平成12）年に「社会福祉法」に改正され、現在の共同募金は、この「社会福祉法」という法律をよりどころとして進められています。社会福祉法は、日本の社会福祉の基本法であり、共同募金および共同募金会に関する基本的なことは、この法の第10章「地域福祉の推進」の中に規定されています。

5 民間の社会福祉の資金

「共同募金」は、民間の社会福祉の資金として使われます。
赤い羽根募金は、みなさんのお住まいの地域で、幅広く活用されています。寝たきりのお年寄りの入浴サービスや食事サービス、体の不自由な人たちが働く共同作業所、子どもたちの遊び場やおもちゃ図書館、そして特別養護老人ホームや児童養護施設など福祉施設や団体の活動とか、福祉のあらゆる活動に生かされています。福祉は社会に欠かせない大切なことです。いつもは気がつかないけれど、身近なところでいろいろな活動が行われています。

募金でこんなことができます。

10万円...障害者やお年寄りのための車いす1台の購入

250万円...目の不自由な人のための盲導犬1頭の育成

6 海外でも共同募金

『共同募金』が初めて行われたのは、アメリカのクリーブランド。1913年のことでした。アメリカに続いて、カナダ、南アフリカでも共同募金が始まりました。日本は4番目で、第2次世界大戦が終わった後の1947年に始まりました。今では、世界中の30以上の国や地域で共同募金が行われていて、これからも増えていく予定です。